

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立高梁高等学校		
実践者等	関絵里菜	実践日	令和3年5月14日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	芸術科 書道 I		
対象生徒 (学年等)	1年次		
単元名	漢字 楷書		
使用したアプリ等	Classroom、Jamboard		
実践の概要 (ねらい等)	楷書を書き分ける方法を知る。 Chromebook を活用して個別最適化学習、協働学習を行う。		
実践の内容			
<p>(1) 楷書の意義を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教科書を見ながら、「古典」・「拓本」・「臨書」について確認する。 ● 教科書に載っている6つの楷書の作品の印象をペアで話し合う。 ● 孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘の「大風」を見比べて感じた印象(好きな方、温かい方、冷たい方など)、特徴(線質、造形、起筆と執筆など)、そのように感じた理由をペアで話し合う。 <p>(2) 「大風」を一枚書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Chromebook で写真を撮り、Classroom の課題として共有した Jamboard に貼る。 ● ペアで作品を交換して特徴をよく捉えていると思うところに○を書き込む。 ● 作品を相手に返し、互いにそれぞれの○について解説する。 ● 全体で発表した後、解説を聞く。 <p>(教師は Jamboard にタッチペンで○を記入しながら作品を解説する。)</p> <p>(3) 「大風」の解説動画を見て、何枚か練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予め作成しておいた解説動画を Classroom 経由で配付し、動画を一時停止したり、再生速度を変えたり、繰り返し再生したりして、見本を見ながら臨書する。 <p>(4) 最もよくできたと思う作品の写真を撮り、Jamboard に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全員の作品を見て、よく特徴を捉えていると思うところにタッチペンで○を記入する。 ● Jamboard に貼ってある作品の解説を聞く。 <p>(5) 臨書の意義を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 振り返りシートを書き、次回の予告を聞く。 			
参考となる HP 等			

